

「居心地のよい居場所作り」

教頭 齊藤 理香

私は以前勤めていた特別支援学校で12年間高等部の担任をしていました。その間、卒業後の生活を豊かに幸せに過ごすために、学校ですべきことは何か、どんな力をつければよいかをずっと考えていました。大事なことはたくさんありますが、これまで卒業させた子どもたちを見ていて、私が大事だなと感じたのは、「周りの人にかわいがられること」です。

そのような子ども達を見ていると、いつも笑顔である、元気に挨拶ができる、間違ったら「ごめんなさい」と正直に言える、わからないことは「教えてください」と言える、「おいしい」「たのしい」を素直に言える。周囲の人を思いやったり、感謝したりすることができる……ごく当たり前のことですが実際にできるかとなると難しいと思います。

ただ、子どもに「話してほしい言葉」を周りの大人が「たくさん話すようにする」努力はしやすいのではないかと思います。子どもに「ありがとう」といわせたいのであれば「ありがとうは？」ではなく、周りの大人が「ありがとう」を意識してたくさん使ってみる……など周囲の大人が前向きで、安心できる言葉を使っていくことで、子どもも自然に前向きな言葉をたくさん話すようになり、周囲にかわいがられたり、好かれたりする人に育っていくのではないかと思います。

先日の研修会で子どもの心の安定は、周囲の大人が、「笑顔で機嫌がよいこと」に深く関わっているというお話がありました。安心した場所で初めて、子どもは本来の力が出せるのではないのでしょうか。毎日時間に追われる生活の中、機嫌良く過ごすことは私達大人にとって難しいかもしれませんが、学校がみんなにとって「居心地のよい場所」になるように、努めていきたいと思っています。



<新規福祉サービス情報>

今年11月より、新規の福祉サービスが開始されました。詳しくは学校へご連絡ください。

社会福祉法人わかば会
障がい者共同生活援助（グループホーム）
「わかばホーム：Wellbeing 山ノ神」

由利本荘市石脇字山ノ神 11-626
家賃：19,000～22,000
光熱費：10,000 食材費：30,000
日用品：2,000 その他：実費
部屋数：6室

社会福祉法人わかば会
デイサービス「わかば」
（共生型生活介護事業所）

由利本荘市石脇字田尻野 7-3
利用時間：9:30～16:30
看護師、理学療法士、作業療法士、
歯科衛生士常駐
送迎あり（範囲は相談）

令和6年度秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）

11月26日（火）、秋田県総合教育センターにおいて「令和6年度秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）」が開催されました。就労促進フェアでは、作業学習で培った技能を競う「練成会」や、「夢の実現に向けて」をテーマにした就労を目指す生徒の実践発表、特別支援学校の作業学習製品の展示・販売等を行いました。

実践発表では、高等部3年生が就労に向けて取り組んできた学習や成果、今後に向けた課題などを発表し、参加者からたくさんの拍手を受けました。

作業学習製品販売会では、製品について質問を受けた生徒もいて、「お客さんが購入したくなるように説明の仕方を分かりやすくし、より製品に興味と理解をもってもらえるようにしたい」と新たな気付きもありました。

技能競技会「練成会」では、ワードプロセッサ競技、ビルクリーニング競技、喫茶サービス競技の3種類の競技があり、本校からはワードプロセッサ競技に2名、ビルクリーニング競技に2名が出場しました。

結果は、ワードプロセッサ競技で、高等部1年山崎唯人さんが金賞、2年佐々木蓮さんが銅賞、ビルクリーニング競技で、高等部1年齋藤駿介さんが銀賞、2年佐々木斗真さんが銅賞と、全員が見事に入賞を果たしました。本当におめでとうございます。

就労促進フェアでは、県内の事業所や関係機関の方々に本校生徒の頑張りを知っていただく機会となっただけでなく、本校の生徒にとっても他校の実践や生徒の頑張りを知るとてもよい機会となりました。



ワードプロセッサ競技



作業製品販売

高等部3年 個別実習について

12月2日（月）～6日（金）の5日間に渡り、「個別実習」に取り組みました。高等部1・2年生が6月と11月に一斉に行う「定期実習」とは違いがあります。「個別実習」を行う理由としては、①卒業後の生活と仕事に見通しをもつ②卒業後の職場定着に向けて現場での経験を積み重ねるなどがあります。4月からの新生活を考えた際、働く気持ちが高まっているタイミングで、冬の通勤への不安や、時期によって違う仕事を体験することに意義があるとして、高等部3年の多くの生徒が実習を行いました。



ちょうど寒くなり始めた季節で、作業に取り組むための服装の準備に課題が見られたり、通勤手段で自転車が使用できないために40分ほど歩いて通退勤したりなど、この時期ならではの課題が見られました。このような場面を想定して実習前に準備をしていましたが、それでも想定外の事が起きました。実際に体験することがやはり大切だと感じました。

個別実習は本人・実習先と相談の上で必要に応じて実施を検討します。より良い進路実現に向けて、担任にぜひ実習についてご相談ください。